



天の川見つけた

I found the Milky Way.

～夜空のプログラム～

大自然に囲まれた休暇村だからこそ眺められる“天の川”。夏の夜空を見上げてみませんか。

銀河鉄道の夜

宮沢賢治

「ではみなさんは、そういうふうな川だと云われたり、乳の流れたあとだと云われたりしていたこのぼんやりと白いものがほんとうは何かご承知ですか。」

「大きな望遠鏡で銀河をよっく調べると銀河は大体何でしょう。」

「このぼんやりと白い銀河を大きな望遠鏡で見ますと、もうたくさん小さな星に見えるのです。ジョバンニさんそうでしょう。」

先生は中にたくさん光る砂のつぶの入った大きな両面の凸レンズとつを指しました。

「天の川の形はちょうどこんななのです。」

このいちいちの光るつぶがみんな私どもの太陽と同じようにじぶんで光っている星だと考えます。

私どもの太陽がこのほぼ中ごろにあつて地球がそのすぐ近くにあるとします。

みなさんは夜にこのまん中に立って

このレンズの中を見まわすとしてごらん下さい。

こつちの方はレンズが薄いのでわずかの光る粒

即ち星すなわしか見えないのでしよう。

こつちやこつちの方はガラスが厚いので、

光る粒すなわ即ち星がたくさん見え

その遠いのはぼうつと白く見えるという

これがつまり今日の銀河の説なのです。

そんならこのレンズの大きさがどれくらいあるか

またその中のさまざまの星についてはもう時間ですから

この次の理科の時間にお話します。

では今日はその銀河のお祭なのですから

みなさんは外へでてよくそらをごらん下さい。

ではここまでです。本やノートをおしまい下さい。」